第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館						
日時	平成31年3月23日	(土)	10:30				
コート	В⊐−ト	第2詞	第2試合				
カテゴリー	男子	10	1回戦				
主審	和田 敏文						
第1副審	堤 哲也						
第2副審	潮平 朝一郎						

TEAM A		_				ТЕАМ В
			1st			
長崎東	87	27	2nd 3rd	18	66	鹿児島工業
及門木	07	13	3rd	19	UU	此儿田二木
長崎2位		19	4th	14		鹿児島1位
			ОТ			
0						

【BOXスコア】

TE	AM A	長崎東高等学校					
番号	選手名		得点	3P	2P	FT	反則
4	谷川海斗	0	43	7	11		2
5	加藤健翔	0	20	2	7		1
6	森田真央	0	6		3		2
7	松本崇士	0	0				3
8	宮田佳祐		0				
9	梅本悠吏		1			1	1
10	萬屋善善		6		3		
11	永 野 威 旺	0	11	3	1		
12	猪股寬大		0				
13	市原拓馬		0				1
14	横山昴輝		0				
15	中田将暉		0				
16	坂 本 和 寛		0				
17	大 崎 蓮		0				
18	中坂悠人		0				
コーチ	内田直志			/		$\overline{}$	
	合計 87 12 25 1 10						

TEAM B 鹿 児			記島工	業高等学校				
番号	選手名		得点	3P	2P	FT	反則	
4	末吉 玲		0					
5	那須 爽汰		6		3		1	
6	中野 翔太		2		1			
7	吉直 潤太	0	15	2	3	3	1	
8	大山 樹		0					
9	濵上 竜平		0					
10	松下 剣士郎		0					
11	野﨑 大翔		2		1		1	
12	中薗 倫人		0					
13	中俣 淳之介		0				1	
14	原口 拓己	0	18	1	7	1	1	
15	日髙 雄介	0	6		3			
16	有村 心吾	0	6		3		3	
17	佐々木 雄大	0	0					
18	山下 聖		11	1	4		2	
コーチ	中島 祐介			/				
	合 計		66	4	25	4	10	

【戦評】

全九州大会1回戦、長崎県2位長崎東対鹿児島県1位鹿児島工業との対戦、チームAのスターティングメンバーは、#4、#5、#6、#7、#11、チームBのスターティングメンバーは、#7、#14、#15、#16、#17で試合開始。第1Q長崎東は#4の3Pが立て続けに決まり主導権を奪う。鹿児島工業はカッティングを中心としたモーションオフェンスを展開し立て直しを図るがシュートが決まらずリズムに乗れない。リバウンドから速攻も出始めた長崎東が13点のリードを奪い第1Q終了。第2Q鹿児島工業はディフェンスの頑張りからリズムが生まれ始め#15のインサイドと#7の3Pで反撃開始。長崎東も#4の3P、#5、#7の個人技、ターンノーバーからの速攻で主導権を譲らず、55対33の長崎東リードで前半終了。序盤に固さが見られた鹿児島工業を抑え効果的な3Pを決めた長崎東が主導権を握った展開となる。第3Q互いにディフェンスやルーズボール、スプリントバックなどを頑張り膠着状態が続く。しつこいディフェンスからタフショットを誘い鹿児島工業が#14, #7の得点で徐々に点差を縮めていくき68対52で第3P終了。第4Q追い上げたい鹿児島工業はフルコートプレス、1ー2ー2ゾーンディフェンスを仕掛けターンノーバーを誘うがシュートを決めきれず、長崎東の#4、#5が3P、2Pを冷静に沈める。終盤追い上げたい鹿児島工業に対して長崎東は慌てることなくゲームをコントロールし、87対66で試合終了。序盤固かった鹿児島工業からしつこくチェンジングディフェンスを仕掛けられても慌てず、#5、#7の高い個人技とリバウンド、#4、#11の3Pを効果的に沈めた長崎東が冷静に勝利したゲームであった。